学校番号	T3015

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	フードデザイン Food Changes LIFE　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

食生活をデザインすることは、現在、そして未来の「生活」を”変える”ことにつながります。ライフスタイルが多様化し、私たちを取り巻く社会の状況も日々変化する中で、よりよい食生活をデザインしていきましょう。

2　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を次の通り育成することをめざす。

(1)栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2)食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3)食生活の充実向上をめざして自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見つけ、思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食生活に関する諸問題に関心をもち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学	単	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法

				知(a)	思(b)	主(c)
前期	健康と食生活	①食事の意義と役割 ②食を取り巻く現状	a:日本の食生活の現状と、青年期の食生活の課題を理解している。 b:日本の食生活の課題を把握し、自身の食生活について考察している。 c:青年期の食生活の特徴を自らの生活と比較し、食生活を改善しようとしている。	観察 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 プリント
	各国料理とコーディネート	①料理の様式 ②テーブルコーディネート 調理実習	a:各様式別料理の特徴や献立構成について理解している。 b:食べる人に配慮した献立やサービスの方法について判断することができる。 c:各様式別料理の献立や作法について興味を持ち、具体的に取り組もうとしている。	観察 実習 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実習 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実習 プリント
後期	献立と調理	献立を立ててみよう 調理実習	a:衛生面と安全に配慮した食品の取り扱いと、調理操作を身に付けている。 b:食事テーマを具体的に設定し、それに適した献立を考え、適切に食材の選択することができている。 c:食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法に意欲、関心を持って取り組もうとしている。	観察 実習 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実習 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実習 プリント
	食育と食育推進活動	①食育推進の取り組み ②食文化を見つめる ③食と環境について考えよう 調理実習	a:食育基本法、食育推進計画等の目的や概要を理解している。 b:食品ロスに関する課題を考察し、問題点をまとめたり発表したりすることができる。 c:食育を家庭、地域、企業はどのように推進しようとしているかに意識、関心を持ち、主体的に考えようとしている。	観察 実習 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実習 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実習 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度